

2021年度 施設情報 総合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	116 数
一般病院	595 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	86 数
検診機関	44 数
合計	844 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数	④ 非常勤の場合の勤務形態
細胞診専門医数	2,765 数
② 経験年数	1 : 定期的に週2回以上勤務 243 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	19.2 年
③ 常勤か非常勤	2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上 361 数
常勤	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満 140 数
非常勤	4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上 54 数
	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満 58 数
	6 : それ以外 343 数
	合計 1,199 数
	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否
	はい 842 数
	いいえ 190 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数	③ 常勤か非常勤
細胞診検査士数	5,041 数
② 経験年数	常勤 4,100 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	18.5 年
	非常勤 913 数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	3,099,338	128,155	19,376	43,008	3,289,877	120,557	193,113
呼吸器	734,442	28,363	62,588	52,137	877,530	110,207	178,114
消化器	73,126	29,013	27,955	8,653	138,747	49,942	
泌尿器	1,846,922	145,780	44,601	4,244	2,041,547	94,352	
乳腺	84,444	19,990	20,583	24,072	149,089	28,693	
甲状腺	93,569	20,521	12,814	19,668	146,572	13,347	
体腔液	243,330	19,436	47,370	904	311,040	88,103	
リンパ節	28,652	7,281	24,841	5,067	65,841	26,241	
その他	98,803	20,668	13,928	6,287	139,686	24,744	
小計	6,302,626	419,207	274,056	164,040	7,157,413	556,189	371,227

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
14,489	10,822,114	268,254	43,837	173,745	92,530	14,832	8,283	5,551	668	1,645	11,445,948	2,932,543

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	3,672	152	23	51	3,898	143	229
呼吸器	870	34	74	62	1,040	131	211
消化器	87	34	33	10	164	59	
泌尿器	2,188	173	53	5	2,419	112	
乳腺	100	24	24	29	177	34	
甲状腺	111	24	15	23	174	16	
体腔液	288	23	56	1	369	104	
リンパ節	34	9	29	6	78	31	
その他	117	24	17	7	166	29	
小計	7,468	497	325	194	8,480	659	440

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
17	12,822	318	52	206	110	18	10	7	1	2	13,562	3475

V 学会・研修会参加記録	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	VI 精度管理参加記録
専門医参加者 3,804 数	医師 3,411 数	プログラム 1,536 数
技師参加者 10,984 数	技師 9,251 数	成績(平均) 98.1 %
合計 14,788 数	参加者 12,662 数	

2021年度 大学附属病院 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	116 数
一般病院	595 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	86 数
検診機関	44 数
合計	844 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	658 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	11 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	44 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	13.8 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	10 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	6 数
常勤	549 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	7 数
非常勤	107 数	6 : それ以外	28 数
		合計	106 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	53 数
		いいえ	13 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	844 数	常勤	786 数
② 経験年数		非常勤	51 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	14.4 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	186,545	19,853	4,961	4,572	215,931	29,713	8,758
呼吸器	53,573	6,953	15,438	4,759	80,723	30,315	11,387
消化器	21,708	8,545	8,048	3,212	41,513	16,005	
泌尿器	165,648	23,095	7,704	214	196,661	22,762	
乳腺	5,181	1,851	2,873	2,615	12,520	5,138	
甲状腺	16,223	4,516	3,209	4,727	28,675	3,858	
体腔液	66,148	5,161	11,731	307	83,347	29,049	
リンパ節	7,913	2,248	7,031	1,593	18,785	8,010	
その他	31,439	7,106	4,116	1,815	44,476	9,981	
小計	554,378	79,328	65,111	23,814	722,631	154,831	20,145

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
932	321917	15397	5114	12968	13645	2396	2139	1599	190	458	376,755	32,469

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	1,608	171	43	39	1,861	256	10
呼吸器	462	60	133	41	696	261	13
消化器	187	74	69	28	358	138	
泌尿器	1,428	199	66	2	1,695	196	
乳腺	45	16	25	23	108	44	
甲状腺	140	39	28	41	247	33	
体腔液	570	44	101	3	719	250	
リンパ節	68	19	61	14	162	69	
その他	271	61	35	16	383	86	
小計	4,779	684	561	205	6,230	1,335	24

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
8	2,775	133	44	112	118	21	18	14	2	4	3,248	38

V 学会・研修会参加記録	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	VI 精度管理参加記録			
専門医参加者	1,038 数	医師	892 数	プログラム	200 数
技師参加者	2,161 数	技師	1,908 数	成績(平均)	98.4 %
合計	3,199 数	参加者	2,800 数		

2021年度 一般病院 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	116 数
一般病院	595 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	86 数
検診機関	44 数
合計	844 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数	④ 非常勤の場合の勤務形態
細胞診専門医数 1,499 数	1 : 定期的に週2回以上勤務 74 数
② 経験年数	2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上 256 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均) 19.8 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満 33 数
③ 常勤か非常勤	4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上 41 数
常勤 916 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満 26 数
非常勤 575 数	6 : それ以外 132 数
	合計 562 数
	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否
	はい 428 数
	いいえ 61 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数	③ 常勤か非常勤
細胞診検査士数 2,655 数	常勤 2,471 数
② 経験年数	非常勤 164 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均) 15.8 年	

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数		
婦人科	569,362	34,130	9,192	16,778	629,462	63,768	111,514
呼吸器	146,088	15,363	42,543	12,703	216,697	75,959	29,687
消化器	40,882	17,025	18,445	4,788	81,140	32,064	
泌尿器	527,923	62,843	25,527	1,513	617,806	64,621	
乳腺	26,954	6,349	9,947	8,440	51,690	18,585	
甲状腺	49,267	10,729	6,583	11,134	77,713	8,230	
体腔液	140,894	10,290	28,845	512	180,541	55,928	
リンパ節	17,044	4,267	15,071	2,985	39,367	17,264	
その他	47,540	7,878	7,759	3,518	66,695	13,702	
小計	1,565,954	168,874	163,912	62,371	1,958,595	350,121	141,201

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
7,250	1,645,891	61,185	13,833	40,945	31,937	5,404	3,605	2,486	180	923	1,813,639	538,465

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数		
婦人科	957	57	15	28	1,058	107	132
呼吸器	246	26	72	21	364	128	35
消化器	69	29	31	8	136	54	
泌尿器	887	106	43	3	1,038	109	
乳腺	45	11	17	14	87	31	
甲状腺	83	18	11	19	131	14	
体腔液	237	17	48	1	303	94	
リンパ節	29	7	25	5	66	29	
その他	80	9	13	6	112	23	
小計	2,632	284	275	105	3,292	588	167

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
12	2,766	103	23	69	54	9	6	4	0	2	3,048	638

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者	2,103 数
技師参加者	6,187 数
合計	8,290 数

V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)

医師	1,976 数
技師	5,560 数
参加者	7,536 数

VI 精度管理参加記録

プログラム	1,031 数
成績(平均)	98.5 %

2021年度 個人医療機関 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	116 数
一般病院	595 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	86 数
検診機関	44 数
合計	844 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数	④ 非常勤の場合の勤務形態
細胞診専門医数 6 数	1: 定期的に週2回以上勤務 0 数
② 経験年数	2: 毎週1回勤務: 3時間以上 3 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均) 13.3 年	3: 毎週1回勤務: 1時間~3時間未満 0 数
③ 常勤か非常勤	4: 2週間に1回勤務: 3時間以上 0 数
常勤 3 数	5: 2週間に1回勤務: 1時間~3時間未満 0 数
非常勤 3 数	6: それ以外 0 数
	合計 3 数
	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否
	はい 3 数   いいえ 0 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数	③ 常勤か非常勤
細胞診検査士数 9 数	常勤 8 数
② 経験年数	非常勤 1 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均) 23.2 年	

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数	健診
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数		
婦人科	932	7	9	3	951	51	0
呼吸器	0	0	0	0	0	0	0
消化器	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器	25	1	1	0	27	0	0
乳腺	15	1	4	8	28	17	0
甲状腺	5,092	717	1,299	236	7,344	884	0
体腔液	0	0	0	0	0	0	0
リンパ節	194	59	753	46	1,052	901	0
その他	19	1	0	3	23	0	0
小計	6,277	786	2,066	296	9,425	1,185	0

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
1	6,219	159	7	157	75	7	5	2	1	2	6,635	201

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数	健診
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数		
婦人科	311	2	3	1	317	17	0
呼吸器	0	0	0	0	0	0	0
消化器	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器	8	0	0	0	9	0	0
乳腺	5	0	1	3	9	6	0
甲状腺	1,697	239	433	79	2,448	295	0
体腔液	0	0	0	0	0	0	0
リンパ節	65	20	251	15	351	0	0
その他	6	0	0	1	8	0	0
小計	2,092	262	689	99	3,142	395	0

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
0	2,073	53	2	52	25	2	2	1	0	1	2,212	67

V 学会・研修会参加記録

専門医参加者 16 数	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿) 医師 11 数	VI 精度管理参加記録 プログラム 3 数
技師参加者 37 数	技師 19 数	成績(平均) 100.0 %
合計 53 数	参加者 30 数	

2021年度 登録衛生検査所 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	116 数
一般病院	595 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	86 数
検診機関	44 数
合計	844 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数	④ 非常勤の場合の勤務形態
細胞診専門医数	436 数
② 経験年数	1 : 定期的に週2回以上勤務 144 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	22.6 年
③ 常勤か非常勤	2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上 52 数
常勤	47 数
非常勤	389 数
	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満 71 数
	4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上 5 数
	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満 15 数
	6 : それ以外 93 数
	合計 380 数
	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否
	はい 243 数
	いいえ 84 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数	③ 常勤か非常勤
細胞診検査士数	1,177 数
② 経験年数	常勤 542 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	25.4 年
	非常勤 633 数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判別別件数

施設総合計	判別別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	2,245,125	72,735	4,270	20,073	2,342,203	25,957	40,773
呼吸器	444,278	5,462	4,030	26,230	480,000	3,761	74,210
消化器	9,834	3,354	1,331	643	15,162	1,538	
泌尿器	1,139,887	59,382	11,165	2,502	1,212,936	6,939	
乳腺	49,995	11,372	7,383	12,725	81,475	4,749	
甲状腺	20,237	4,374	1,537	3,444	29,592	252	
体腔液	35,464	3,942	6,644	81	46,131	3,101	
リンパ節	3,391	684	1,942	404	6,421	726	
その他	19,377	5,597	2,003	920	27,897	1,050	
小計	3,967,588	166,902	40,305	67,022	4,241,817	48,073	114,983

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
5,268	7,211,857	175,819	21,298	109,271	41,411	5,841	2159	1294	254	231	7,574,703	1,202,731

② 判別別件数・施設数(平均)

施設総合計	判別別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	26,106	846	50	233	27,235	302	474
呼吸器	5,166	64	47	305	5,581	44	863
消化器	114	39	15	7	176	18	
泌尿器	13,255	690	130	29	14,104	81	
乳腺	581	132	86	148	947	55	
甲状腺	235	51	18	40	344	3	
体腔液	412	46	77	1	536	36	
リンパ節	39	8	23	5	75	8	
その他	225	65	23	11	324	12	
小計	46,135	1,941	469	779	49,323	559	1337

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
61	83,859	2,044	248	1,271	482	68	25	15	3	3	88,078	13985

V 学会・研修会参加記録	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	VI 精度管理参加記録
専門医参加者 440 数	医師 349 数	プログラム 225 数
技師参加者 1,865 数	技師 1,365 数	成績(平均) 95.8 %
合計 2,305 数	参加者 1,714 数	

2021年度 施設情報 総合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	116 数
一般病院	595 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	86 数
検診機関	44 数
合計	844 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数	④ 非常勤の場合の勤務形態
細胞診専門医数 166 数	1 : 定期的に週2回以上勤務 14 数
② 経験年数	2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上 6 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均) 26.8 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満 26 数
③ 常勤か非常勤	4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上 2 数
常勤 17 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満 10 数
非常勤 149 数	6 : それ以外 90 数
	合計 148 数
	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否
	はい 115 数
	いいえ 32 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数	③ 常勤か非常勤
細胞診検査士数 357 数	常勤 293 数
② 経験年数	非常勤 64 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均) 25.3 年	

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	97,374	1,430	944	1,582	101,330	1,069	32,068
呼吸器	90,503	585	577	8,445	100,110	172	62,830
消化器	702	89	131	10	932	335	
泌尿器	13,439	459	204	15	14,117	31	
乳腺	2,299	417	376	284	3,376	204	
甲状腺	2,750	185	186	127	3,248	123	
体腔液	824	43	150	4	1,021	26	
リンパ節	110	23	44	39	216	9	
その他	428	86	50	31	595	11	
小計	208,429	3,317	2,662	10,537	224,945	1,980	94,898

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
1,038	1,636,230	15,694	3,585	10,404	5,462	1,184	375	170	43	31	1,674,216	1,158,677

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	健診
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	2,213	33	21	36	2,303	24	729
呼吸器	2,057	13	13	192	2,275	4	1428
消化器	16	2	3	0	21	8	
泌尿器	305	10	5	0	321	1	
乳腺	52	9	9	6	77	5	
甲状腺	63	4	4	3	74	3	
体腔液	19	1	3	0	23	1	
リンパ節	3	1	1	1	5	0	
その他	10	2	1	1	14	0	
小計	4,737	75	61	239	5,112	45	2157

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	健診
24	37,187	357	81	236	124	27	9	4	1	1	38,050	26334

V 学会・研修会参加記録	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	VI 精度管理参加記録
専門医参加者 207 数	医師 183 数	プログラム 61 数
技師参加者 734 数	技師 669 数	成績(平均) 98.1 %
合計 941 数	参加者 852 数	

精度管理に関する質問調査 総合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	826	いいえ	18		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	823	いいえ	20		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	757	いいえ	77	「はい」ならば何%くらいですか	33.2 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	798	いいえ	44	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	53.5 % 4.4 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	832	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	28.4 年 66.7 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	831	いいえ	3		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	828	いいえ	8		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	835	いいえ	3		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	833	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	646	いいえ	188		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	375	いいえ	464	1日の最大検体数	70.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	566	いいえ	272		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	836	いいえ	6		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	826	いいえ	12		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	819	いいえ	14		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	789	いいえ	41		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	823	いいえ	17		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けていますか？	はい	736	いいえ	102	「いいえ」の場合何%	27.0 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	550	いいえ	288	「はい」の場合 一年何回	55.4 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	493	いいえ	310		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	259	いいえ	567		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	223	いいえ	485		

精度管理に関する質問調査 大学附属病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	115	いいえ	1		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	111	いいえ	5		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	109	いいえ	6	「はい」ならば何%くらいですか	56.1 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	111	いいえ	5	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	60.4 % 4.4 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	115	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	38.1 年 81.9 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	114	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	114	いいえ	1		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	116	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	112	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	88	いいえ	28		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	35	いいえ	80	1日の最大検体数	61.2 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	66	いいえ	50		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	116	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	115	いいえ	1		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	110	いいえ	5		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	113	いいえ			
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	112	いいえ	4		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	111	いいえ	5	「いいえ」の場合何%	46.0 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	89	いいえ	26	「はい」の場合 一年何回	59.7 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	82	いいえ	31		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	33	いいえ	81		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	23	いいえ	70		



精度管理に関する質問調査 一般病院 合計595施設

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	582	いいえ	11		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	583	いいえ	11		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	537	いいえ	49	「はい」ならば何%くらいですか	%
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	562	いいえ	31	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	57.5 % 4.7 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	585	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	31.2 年 72.5 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	586	いいえ	3		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	582	いいえ	7		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	587	いいえ	2		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	588	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	429	いいえ	156		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	225	いいえ	366	1日の最大検体数	62.3 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	386	いいえ	203		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	591	いいえ	3		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	580	いいえ	9		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	578	いいえ	9		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	544	いいえ	41		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	579	いいえ	12		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	517	いいえ	75	「いいえ」の場合何%	27.3 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	346	いいえ	244	「はい」の場合 一年何回	64.7 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	301	いいえ	257		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	165	いいえ	415		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	139	いいえ	354		

精度管理に関する質問調査 個人病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	3	いいえ	0	「はい」ならば何%くらいですか	42.0 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	1	いいえ	2	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	21.0 % 2.5 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	3	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	9.3 年 72.7 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	3	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	2	いいえ	1	1日の最大検体数	45.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	3	いいえ	0		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	2	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	3	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	3	いいえ	0	「いいえ」の場合何%	%
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	3	いいえ	0	「はい」の場合 一年何回	13.0 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	1	いいえ	1		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	2	いいえ	1		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	1	いいえ	2		

精度管理に関する質問調査 登録衛生検査所 合計86施設

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	81	いいえ	5		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	82	いいえ	4		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	77	いいえ	9	「はい」ならば何%くらいですか	9.1 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	82	いいえ	4	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	23.8 % 4.0 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	86	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	7.9 年 33.4 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	85	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	86	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	86	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	86	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	84	いいえ	2		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	76	いいえ	10	1日の最大検体数	82.6 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	74	いいえ	12		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	84	いいえ	1		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	86	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	85	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	86	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	85	いいえ	1		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	67	いいえ	17	「いいえ」の場合何%	23.2 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	75	いいえ	11	「はい」の場合 一年何回	24.8 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	73	いいえ	13		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	36	いいえ	49		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	38	いいえ	43		

精度管理に関する質問調査 検診施設 合計44

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	43	いいえ	1		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	44	いいえ	0		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	31	いいえ	13	「はい」ならば何%くらいですか	14.9 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	42	いいえ	2	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	40.6 % 2.5 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	44	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	5.8 年 9.9 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	44	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	44	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	44	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	44	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	42	いいえ	2		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	37	いいえ	7	1日の最大検体数	92.4 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	37	いいえ	7		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	42	いいえ	2		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	42	いいえ	2		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	44	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	43	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	44	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けていますか？	はい	38	いいえ	5	「いいえ」の場合何%	20.0 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	37	いいえ	7	「はい」の場合 一年何回	23.8 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	36	いいえ	8		
	(5)他施設と合同で細胞診検討会を行っていますか	はい	23	いいえ	21		
	(6)他施設と合同で行っている細胞診検討会の記録を書類として保存していますか	はい	22	いいえ	16		